

学校の教育目標は育てたい子ども像が描かれていますか？

～総合的な学習の時間を核とした地域・学校連携カリキュラム作成のために～

本市の重点項目の一つに「総合的な学習の時間を核とした学校・地域連携カリキュラムの充実・実施」があります。

なぜ、総合的な学習の時間を核とするのでしょうか。それは、総合的な学習の時間の目標は学校の教育目標と直接的につながるといふ、他教科等にはない独自の特質を持っているからです。つまり、各学校の総合的な学習の時間の目標が学校の教育目標を具体化し、各教科等の学習を関連付けることにより、総合的な学習の時間を軸としながら、教育課程全体で学校の教育目標のよりよい実現をめざすこととなります。そのため、本市では現在、各学校や地域で総合的な学習の時間のカリキュラムの見直しに力を注いでいます。

めざす子供の姿の議論

育成をめざす資質・能力のイメージ化

総合の目標設定

学校のすべての教育活動の質の向上に資する(カリキュラム・マネジメント)

ただし、この取組には大前提となる大切な条件があります。それは、**学校の教育目標**の中に実現をめざす望ましい児童生徒の姿が具体的に描かれているということです。

それぞれの学校の教育目標はいかがでしょうか。一般的にその学校の伝統的な価値観を表すものとはなっていますが、その学校の特色ある教育を導くという役割は十分に果たされているでしょうか。

児童生徒を取り巻く環境は大きく変わり、学校が抱える課題も複雑化・困難化しています。その中で、学校の教育活動のめざす方向を示す教育目標が長期間変更されず、現状・未来に合致していないという状況になってはいないか、今一度、再点検してみる必要があるかもしれません。

現在の国の学習指導要領のキーワードは「開かれた教育課程」であり、学校運営の根幹であるコミュニティ・スクールとしての取組も「地域とともにある学校づくり」をめざしています。

本市でも、現在、小中一貫グランドデザインの目標の改定は学校運営協議会の熟議等を通して継続的に進めていますが、各学校の教育目標も地域の願いを反映した目標として見直し、その実現をめざして学校と地域が協働できるようにしていく必要があります。

各学校の教育目標についても地域とともに見直し、地域との共有を図りたいものです。

地域の願いを反映した学校の教育目標の見直しには多くの労力と時間が必要です。しかし、全てのスタートである目標の重要性・価値について、まずは学校の職員でしっかりと再認識し、さらに地域も見直しのプロセスに加わってもらい目標の共有を図ってこそ、真の「地域とともにある学校づくり」が進むはずで

地域とともにある学校づくりに向け地域と学校が協働し、総合的な学習の時間を核とした学校・地域連携カリキュラムの充実を進めていくためにも、それぞれの学校の教育目標について、改めて、着目していただきますようお願いいたします。